

「救急患者の血中 NGAL 値に関する疫学調査」

医学情報の研究利用について

熊本大学医学部附属病院救急外来は、外傷患者における来院時血中 NGAL 値に関する疫学調査を実施することになりました。調査対象となるのは、2014年2月1日から2014年6月1日までの間に、熊本大学医学部附属病院救急外来を受診された患者さまです。

調査項目は、年齢、性別、発生状況、既往歴、検査所見、治療内容などです。これらのデータにおいて、すべての患者さまは匿名化され、お名前や住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らの負担が生じることもありませんのでご安心ください。データについては、研究期間中（2015年5月から2016年2月）は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料はシュレッダーにて破棄され、電子データは匿名化した状態で完全に消去されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

本研究の調査対象の患者様で調査に同意されない方はお申し出ください。

このお知らせは熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部の HP で公示を継続します。

この件に関しまして、ご質問などございましたら、下記 研究責任者に遠慮なくお尋ねください。

研究責任者

熊本大学医学部附属病院

救急・総合診療部

金子 唯

電話：096-373-5769（代表）